

●香川県告示第94号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第5条第1項の規定に基づく特定施設の設置の許可の申請があったので、同条第4項の規定によりその概要を次のとおり告示する。

なお、この特定施設を設置することが環境に及ぼす影響についての調査の結果に基づく事前評価に関する事項を記載した書面を次のとおり縦覧に供する。

令和6年4月5日

香川県知事 池田豊人

1 申請の概要

(1) 申請者の住所及び名称並びに代表者の氏名

三豊市詫間町詫間2112番地140

サヌキ畜産フーズ株式会社 代表取締役 増田 浩

(2) 事業場の所在地及び名称

三豊市詫間町詫間2112番地140

サヌキ畜産フーズ株式会社

(3) 特定施設に関する事項

設置しようとする特定施設

種	類	冷凍調理食品製造業の用に供する原料処理施設	
能	力	①300kg/H 1基、②500kg/H 1基、 ③1,500kg/H 1基、④⑤700kg/H 2基	
工期等	工事着手予定年月日	①②許可後、③～⑤既設	
	工事完成予定年月日	①②着工後1か月、③～⑤既設	
	使用開始予定年月日	①②完成後、③～⑤既設	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		連続 8:00～17:00 8時間	
排出される汚水等の汚染状態	項目	通常	最大
	水素イオン濃度	5.8～8.6	5.8～8.6
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	400	600
	化学的酸素要求量 (mg/L)	200	300
	浮遊物質 (mg/L)	200	300
	窒素含有量 (mg/L)	250	300
	りん含有量 (mg/L)	40	60
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (mg/l)	600	800
排出される汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)		20 (①②及び湯煮施設①～④と合算)、③～⑤0.5	22 (①②及び湯煮施設①～④と合算)、③～⑤0.5

種	類	冷凍調理食品製造業の用に供する湯煮施設
能	力	①容量324L 1基、②容量440L 1基、 ③200kg/H 1基、④400kg/H 1基
工期	工事着手予定年月日	許可後
	工事完成予定年月日	着工後1か月

等	使用開始予定年月日	完成後	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		連続 8:00~17:00 8時間	
排出される汚水等の汚染状態	項目	通常	最大
	水素イオン濃度	5.8~8.6	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	400	600
	化学的酸素要求量 (mg/L)	200	300
	浮遊物質量 (mg/L)	200	300
	窒素含有量 (mg/L)	250	300
	りん含有量 (mg/L)	40	60
	ノルマルヘキサン抽出物質量 (mg/L)	600	800
排出される汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)		20 (①~④及び原料処理施設①②と合算)	22 (①~④及び原料処理施設①②と合算)

種	類	冷凍調理食品製造業の用に供する洗浄施設	
能	力	①7,500L/日 1基、②トレ-500個/H 1基	
工期等	工事着手予定年月日	既設	
	工事完成予定年月日	既設	
	使用開始予定年月日	既設	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		連続 8:00~17:00 8時間	
排出される汚水等の汚染状態	項目	通常	最大
	水素イオン濃度	5.8~8.6	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	400	600
	化学的酸素要求量 (mg/L)	200	300
	浮遊物質量 (mg/L)	200	300
	窒素含有量 (mg/L)	250	300
	りん含有量 (mg/L)	40	60
	ノルマルヘキサン抽出物質量 (mg/L)	600	800
排出される汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)		①7.5、②12.3	①7.5、②12.3

(4) 汚水等の処理施設に関する事項

排水処理施設 (1) 変更なし

種	類	排水処理施設 (2)
能	力	47m <sup>3</sup> /日
汚水等の処理方式		膜分離活性汚泥方式
工期等	工事着手予定年月日	既設
	工事完成予定年月日	既設
	使用開始予定年月日	既設
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		24時間連続使用

処理前 及び処 理後の 汚水等 の汚染 状態	項 目	処 理 前		処 理 後	
		通 常	最 大	通 常	最 大
	水素イオン濃度	5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	2,000	2,300	20	30
	化学的酸素要求量 (mg/L)	700	900	20	30
	浮遊物質 量 (mg/L)	1,000	1,200	30	40
	窒素含有量 (mg/L)	250	300	10	30
	りん含有量 (mg/L)	40	60	1	2
	ノルマルヘキサン抽出 物質含有量 (mg/L)	600	800	3	5
	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	-	-	2,000	3,000
	排出される汚水等の量(m <sup>3</sup> /日)	32	47	32	47

(5) 排出水の汚染状態及び量

区 分		排 水 口 No.1	
排水 の汚染 状態	項 目	通 常	最 大
	水素イオン濃度	5.8~8.6	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	2	5
	化学的酸素要求量 (mg/L)	2	5
	浮遊物質 量 (mg/L)	2	5
	窒素含有量 (mg/L)	<1	<1
	りん含有量 (mg/L)	<1	<1
	ノルマルヘキサン抽出物質含有 量 (mg/L)	<1	<1
	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	<1	<1
排水の量 (m <sup>3</sup> /日)	10	15	

区 分		排 水 口 No.3	
排水 の汚染 状態	項 目	通 常	最 大
	水素イオン濃度	5.8~8.6	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	20	30
	化学的酸素要求量 (mg/L)	20	30
	浮遊物質 量 (mg/L)	20	30
	窒素含有量 (mg/L)	43	75
	りん含有量 (mg/L)	1	2
	ノルマルヘキサン抽出物質含有 量 (mg/L)	3	5
大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	2,000	3,000	
排水の量 (m <sup>3</sup> /日)	170	195	

区 分		排 水 口 No.4	
排水水の汚染状態	項 目	通 常	最 大
	水素イオン濃度	5.8~8.6	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	30→20	40→30
	化学的酸素要求量 (mg/L)	30→20	40→30
	浮遊物質量 (mg/L)	30	40
	窒素含有量 (mg/L)	30	50
	りん含有量 (mg/L)	3	5
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (mg/L)	<1	<1
	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	2,000	3,000
排水水の量 (m <sup>3</sup> /日)	1→2	3→2.8	

区 分		排 水 口 No.8	
排水水の汚染状態	項 目	通 常	最 大
	水素イオン濃度	5.8~8.6	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	20	30
	化学的酸素要求量 (mg/L)	20	30
	浮遊物質量 (mg/L)	30	40
	窒素含有量 (mg/L)	10	30
	りん含有量 (mg/L)	1	2
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (mg/L)	3	5
	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	2,000	3,000
排水水の量 (m <sup>3</sup> /日)	32	47	

排水口No.2、5、6、7、9、10は雨水専用

## 2 縦覧の期間及び場所

### (1) 期間

令和6年4月5日から同月26日まで

### (2) 場所

香川県環境森林部環境管理課

三豊市市民環境部環境衛生課